

学校に藤沢めだかのふるさとを作ろう、めだかを身近に感じよう

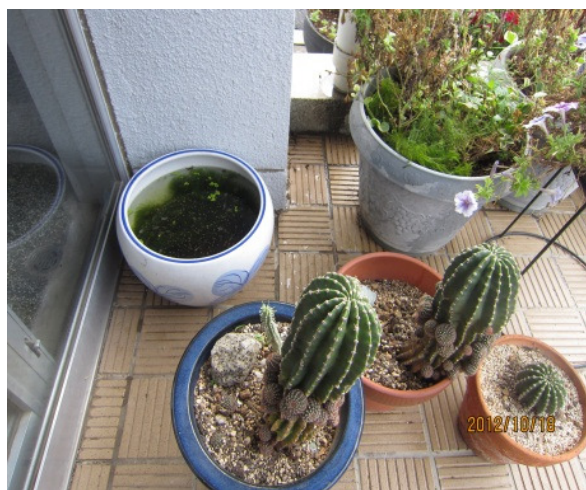
藤沢市立善行中学校

1. 実践の内容

本校では今年度、藤沢市教育文化センター主催の研修「そのまま授業基礎mini 藤沢めだか 学校用特別配布」にて、約100匹の藤沢めだかをいただいて活動がスタートした。

屋外では職員玄関前、屋内では職員室前廊下と3年生の1つのクラスに水槽を設置した。

全校生徒が観察しやすい場所で飼うことで、藤沢めだかを身近に感じて生命の尊さを学ばせることにした。3年生の理科の授業で、4人班ごとにめだかを1匹ずつ配付し、観察を行った。3年生の1つのクラスでは生き物係をつくり、餌やりや水槽の水の取り換えなどを生徒が自主的に取り組んでいる。



2. 実践の成果

生徒、職員ともに、一度絶滅してしまった藤沢めだかの生態やめだかの成長、自然の大切さを学ぶことができた。

また、3年生の理科の授業で行った観察では、生徒たちの生き生きと活動している姿がたいへん印象的だった。

3. 今後の課題、実践のポイント

藤沢めだかのふるさとを学校に作るために、生徒全体で飼育を行い、子孫を殖やしていけるようにする。

また、生命の尊さについて理解させ、慎重に飼育に取り組ませたい。